

花川東・緑苑台地区防災マップ (令和3年版)

凡例

- 洪水浸水想定区域**
- 10.0～20.0m 未満
 - 5.0～10.0m 未満
 - 3.0～5.0m 未満
 - 0.5～3.0m 未満
 - 0.5m 未満
- 石狩川水系石狩川 洪水浸水想定区域(想定最大規模)を示す
- 新川水系新川・中の川・琴似発寒川・琴似川洪水浸水想定区域(想定最大規模)を示す
- 中小河川 洪水浸水想定区域(想定最大規模)を示す
- 指定緊急避難場所**
- 指定緊急避難場所
 - 指定緊急避難場所・指定避難所
- 警察**
- 病院
 - 消防署・消防団
 - 公民館・研修センター
 - 福祉・児童館
 - 幼稚園・保育園
 - 文化・教育施設
 - 公園
 - 一般国道
 - 主要道路

備蓄品

- 《非常食》
- 雑炊
 - クラッカー
 - 飲料水
 - 粉ミルク
 - アレルギー対応粉ミルク
- 《生活用品》
- 毛布
 - ラジオライト
 - 発電機
 - 投光機
 - ストーブ
 - 救急箱
 - 簡易トイレ
 - 子供用おむつ
 - 大人用おむつ
 - 生理用品
 - ガスコンロ
 - ビニールシート
 - ハンドマイク
- ※避難所により、備蓄状況は異なります。

防災用資機材セット

- 消火器 5本
- 消火ワツ 10個
- のこぎり 1丁
- おの 1丁
- ハンマー 1丁
- 金てこ 1本
- 剣先スコップ 5本
- かませ木 2本
- ロープ 2本
- ジャッキ 1台
- ボルトクリッパー 1丁
- 折りたたみ式担架 2台
- 救急セット 1式
- 道具台車 1台
- トランジスタメガホン 1台
- ラジオライト 1台
- ヘルメット 10個
- 防水シート 3枚
- 資機材収納箱 1台

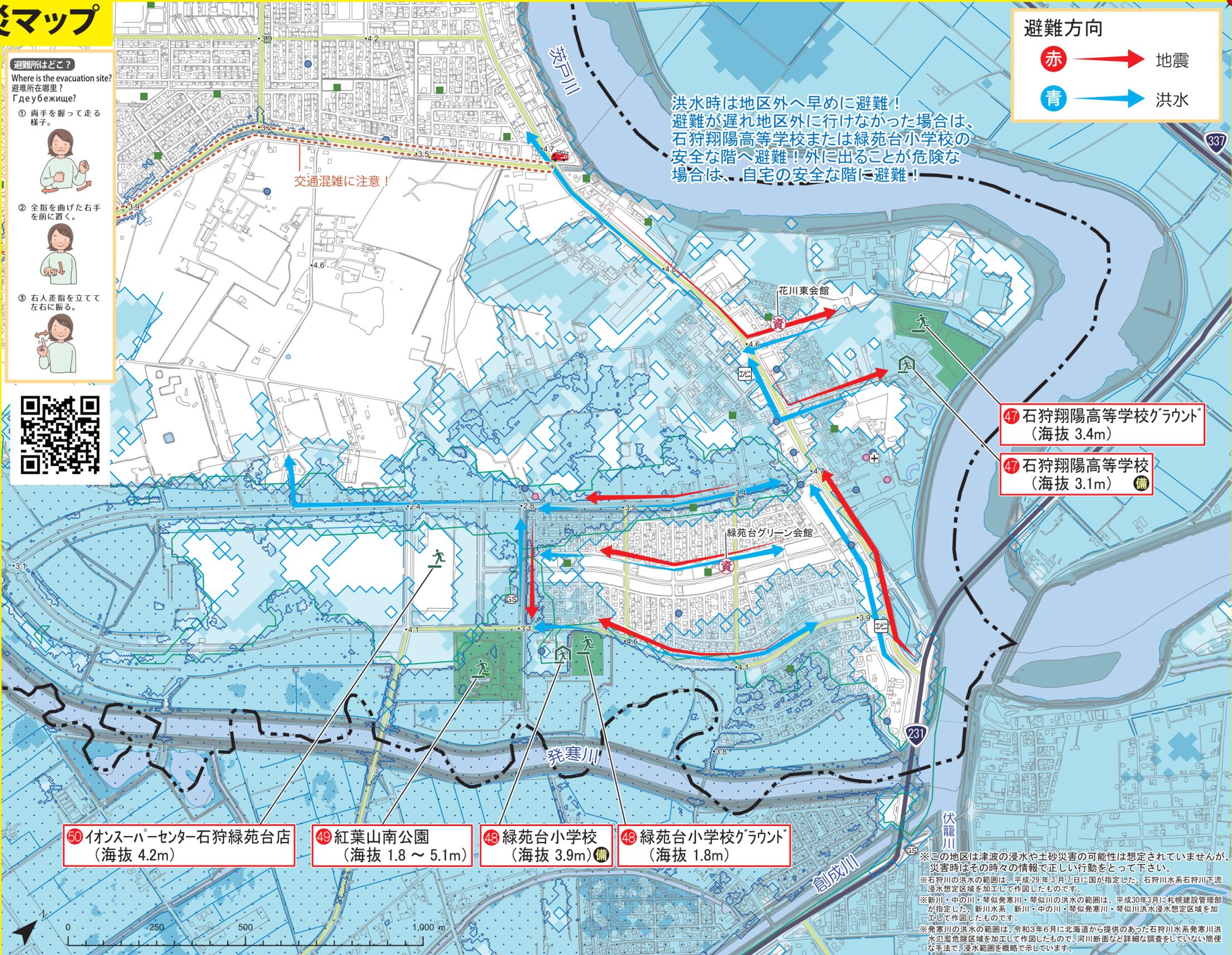
持ち出し品の確認

個人でなければ用意できないものなど、絶対に忘れてはいけない持ち出し品をメモしておきましょう。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

避難所はどこ？
Where is the evacuation site?
避難所在哪里？
Где убежище?

- ① 両手を握って走る様子。
- ② 全指を曲げた右手を前に置く。
- ③ 右人差し指を立てて左右に振る。



指定緊急避難場所	災害の種類							指定避難所	住所	電話番号	家族の連絡先				家族のルール 家族の避難先等について記入しよう	緊急連絡先	
	地震	津波	高潮	洪水	まわりの浸水	土砂災害	大火事				家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号		市役所	石狩市総務部危機対策課
47 石狩翔陽高等学校	△	○	○	▲	○	○	×	○	花川東 128-31	74-5771	明・大昭・平	年 月 日	A・B O・AB		市役所	石狩市総務部危機対策課	
石狩翔陽高等学校グラウンド	○	○	○	×	○	○	○	○			明・大昭・平	年 月 日	A・B O・AB		かかりつけの病院	電話番号: 72-3190	
48 緑苑台小学校	△	○	○	▲	○	○	×	○	緑苑台中央 3-603	76-1990	明・大昭・平	年 月 日	A・B O・AB		病院名:	電話番号:	
緑苑台小学校グラウンド	○	○	○	×	○	○	○	○			明・大昭・平	年 月 日	A・B O・AB		近所の総合病院	電話番号:	
49 紅葉山南公園	○	○	○	×	○	○	○	○	緑苑台中央 3-601	-	明・大昭・平	年 月 日	A・B O・AB			(自由記入欄)	
50 イオンスーパーセンター石狩緑苑台店	○	○	○	×	○	○	○	○	緑苑台中央 1-2	75-9800	明・大昭・平	年 月 日	A・B O・AB			(自由記入欄)	

※まわりの浸水とは、降雨量が小河川や下水道等の流るる能力を超えた場合に、建物や道路が浸水することを指します。※表中の記号は、「○: 現象に対応できるもの ×: 現象に対応できないもの △: 施設の安全が確認された後に使用する施設であり、耐震条件を満たしたもの ▲: 2階以上の避難について現象に対応できるもの」を表しています。

この防災マップは、皆さまの声をまとめたものです。

花川東・緑苑台地区の『防災の心得』

※ この「防災の心得」は、皆さまの声をまとめたものです。

平常時

1 持ち出し品と備蓄の用意！

個人で、持ち出し品の準備や備蓄をしよう。冬季の寒さ対策も忘れないようにしよう。

2 家族で防災会議！

家族の間で、連絡方法、集合場所の確認をしておこう。

3 情報収集手段の確認！

災害時の情報収集手段を事前に確認し、情報を周囲に伝えられるようにしよう。

4 要配慮者の把握！

普段の生活の中から、町内会や隣近所などが中心となって要配慮者の把握を行おう。

5 防災訓練で備える！

想定にとらわれることなく、日頃から防災訓練を実施して、災害時に備えよう。地域内の様々な施設と連携した訓練をしよう。

災害時

1 身の安全を確保！

地震発生直後は、身の安全を確保しよう。

2 周囲の人に知らせる！

隣近所へ声掛けを行い、災害を知らせ合って避難しよう。

3 近くの公園で情報収集！

身の安全を確保したら、近くの小公園などで周囲の情報や災害の情報を収集しよう。

4 状況を見ながら近くの指定緊急避難場所へ！

災害の状況を確認し、さらに危険がある場合は、近くの指定緊急避難場所へ避難しよう。

5 原則徒歩で避難！

多くの危険があるので、車ではなく、徒歩で避難が原則です。

6 助け合って避難！

一人で避難することが困難な高齢者や乳幼児等の要配慮者を支援しよう。

7 大きな通りを通ること！

大きな通りを歩いて避難しよう。避難時は交通事故に気をつけよう。

8 天候に応じた避難を！

吹雪などの天候に考慮した準備をして避難をしよう。

9 大雨！避難情報に対応して避難！

大雨の時は市からの避難情報に対応して避難しよう。避難が間に合わないときは屋内の2階へ避難するなどして身の安全を確保しよう。

<花川東・緑苑台地区> 地区防災マップの使い方

- 1 地区内の危険をチェックしよう。
(津波、洪水、土砂災害など)
- 2 自分の家をチェックしよう。
- 3 いつも通っている場所をチェックしよう。
(学校・職場・病院など)
- 4 近くの避難所をチェックしよう。
- 5 家やいつも通っている場所からの避難ルートを書いてみよう。

※付録の材料を使って家族でマップを完成させよう！
※地区防災ガイドを詳しく見てみよう！



この地区防災マップは公益財団法人北海道市町村振興協会(サマージャンボ宝くじの収益金)の助成を受けて作成しています。